

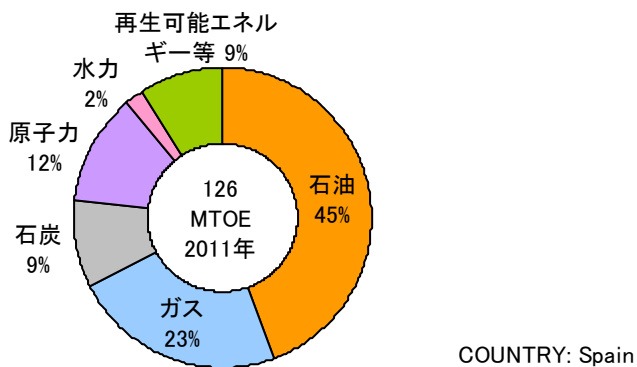
2-12 スペイン

1. サマリー

1. エネルギー事情

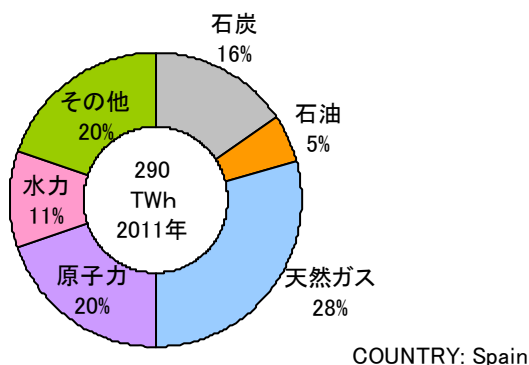
- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 126 万 TOE (日本の 27%)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2011年) : 2.73TOE (日本の 76%)
- (3) エネルギー自給率 (2011年) : 25%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 268.32 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 23.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 5.82 CO₂ 換算 ton (日本の 64.9%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 石炭 (81年)

一次エネルギー供給構成 (2011年)



(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries 2012

発電電力量構成 (2011年)



(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- スペインのエネルギー政策担当機関は工業観光商務省で、同省傘下のエネルギー事務局がスペインのエネルギー政策を管轄している。

(2) 基本政策

- 自国の持続可能な経済発展を達成する為に①競争力確保、②供給安定、③環境保護を基本政策としている。
- 2008年5月、「新国家エネルギー計画」(New National Energy Plan 2008-2016)を発表した。2006年～2016年のエネルギー需要は年平均1.4%増大すると予測し、電気、ガスの生産能力の増大及び、再生可能エネルギー利用拡大を目指す。
- 2007年11月、「気候変動及びクリーンエネルギーに関する戦略 2007-2012-2020」(Spanish Climate Change and Clean Energy Strategy 2007-2012-2020)を策定した。エネルギー効率の向上、再生可能エネルギー、需要管理及び研究開発と革新の4分野における取組を通じ、エネルギーの政策の推進と京都議定書目標の達成を目指す。

(3) 最近の動向

- スペインの原子力安全委員会(CSN)は、2012年2月、同国のGarona原子力発電所(出力44.6万kW)について、運転期限である2013年を越えて操業しても、安全面での障害はないとする報告書を政府に提出した。同発電所は、2009年に運転期間の更新申請をし、CSNが少なくとも2019年までは安全運転できると判断していたが、当時の社会労働党政権により、2013年までに制限されていた。今回の判断により、事業者のNuclenorは改めて2019年までの延長申請を提出する見通しとなっている。
- スペイン議会は2012年2月、固定価格買取制度を一時的に中断することを定めた政令法を承認した。買電を義務付けられた電力会社は、コスト負担の増大と抑制された規制料金のギャップにより赤字が膨らんでいた。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2011年3月、三菱商事、三菱重工および日立製作所は、NEDOが行う「スペインにおけるスマートコミュニティ実証事業」について、事前調査および実証研究の委託先に選定された。同事業は、電力自由化や再生可能エネルギーの大量導入で先行するスペインにおいて、日本の新たな成長産業育成を目指し、再生可能・省エネルギー技術やスマートコミュニティ関連技術の構築と導入効果を実証するものである。

2. 主要エネルギー指標

(2011年)

(1)	一次エネルギー供給量	126 百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	2.73 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.11 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	25 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)	268.3 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)	5.82 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	9.5 %
	石油	44.5 %
	ガス	23.0 %
	原子力	11.9 %
	水力	2.1 %
	再生可能エネルギー等	9.0 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	75 %
(9)	石油の輸入依存度	100 %
(10)	輸入原油の中東依存度 (2010 年)	29.5 %
(11)	原油輸入先 (2010 年)	
	第 1 位	CIS
	第 2 位	イラン
	第 3 位	リビア

(出所) (1) ~ (4) および (7) ~ (9) は IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 edition

(5) ~ (6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012 edition

(10) ~ (11) は Blackwell, World Oil Trade, September 2011